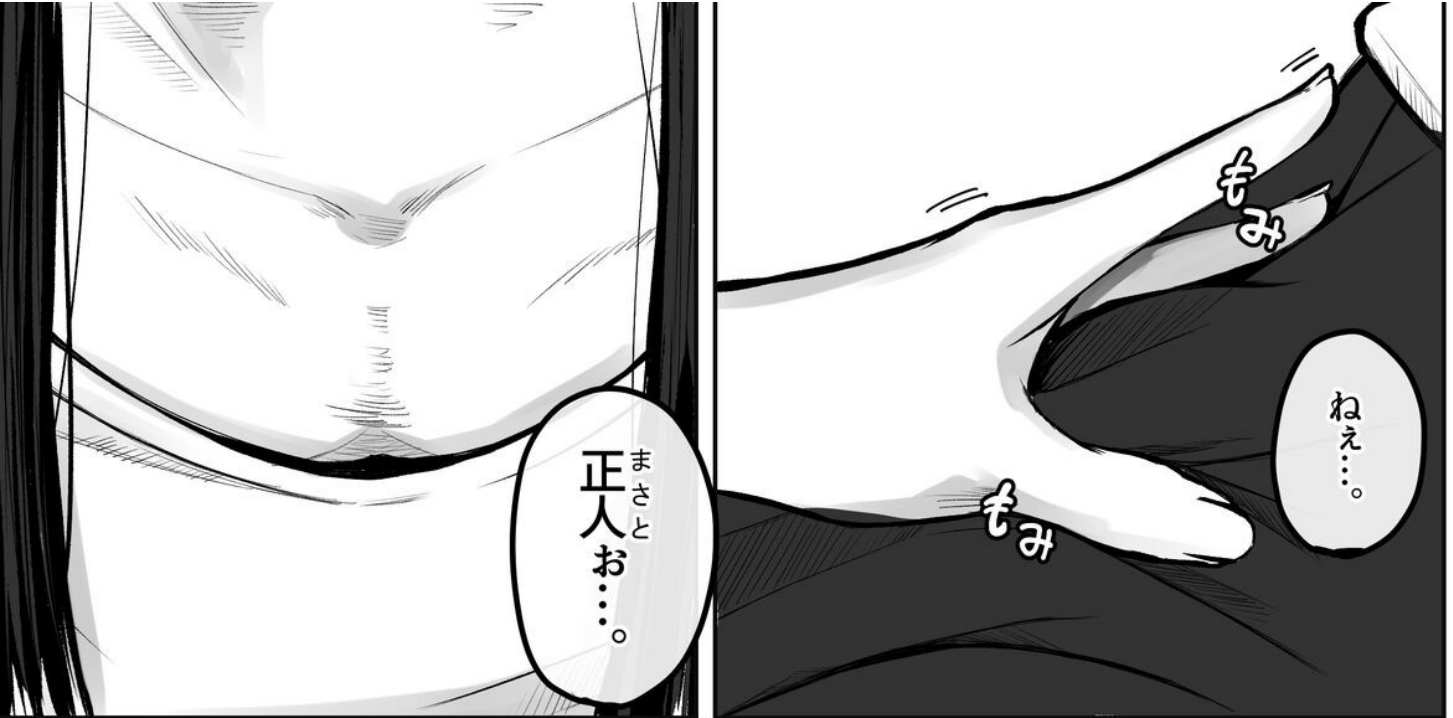
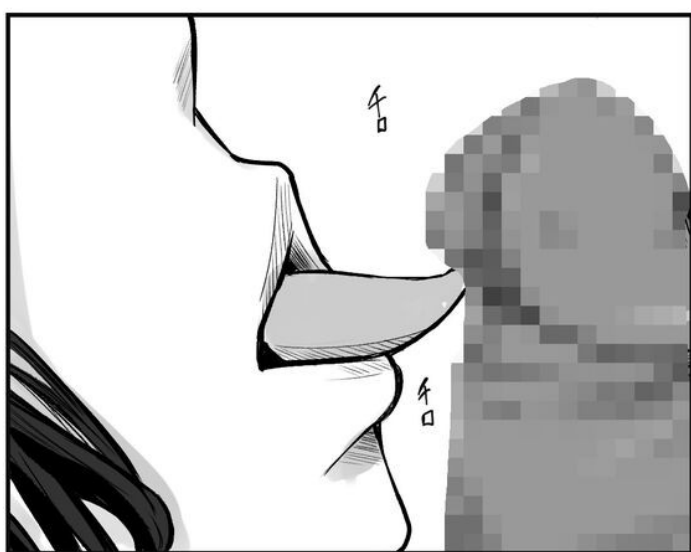


母親のほら

僕は彼女の母親に近づいたために彼氏になった

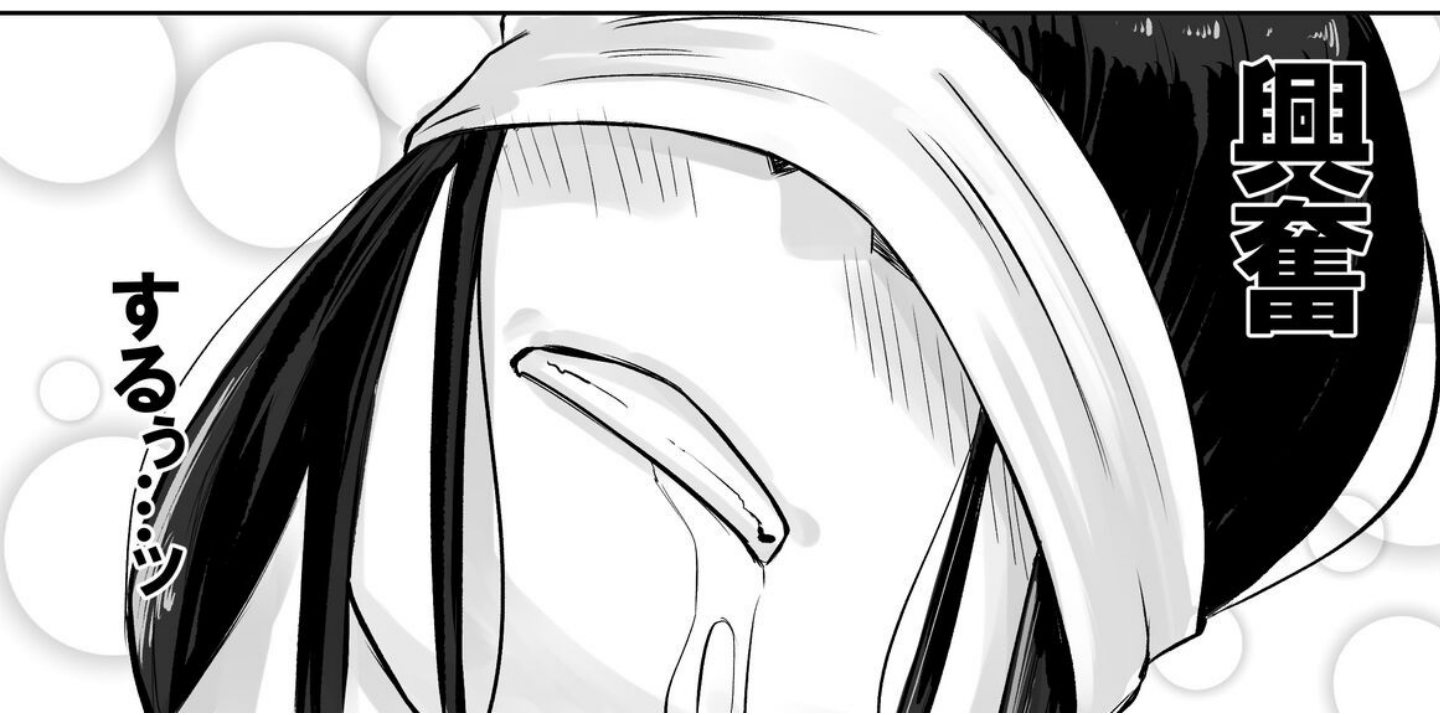
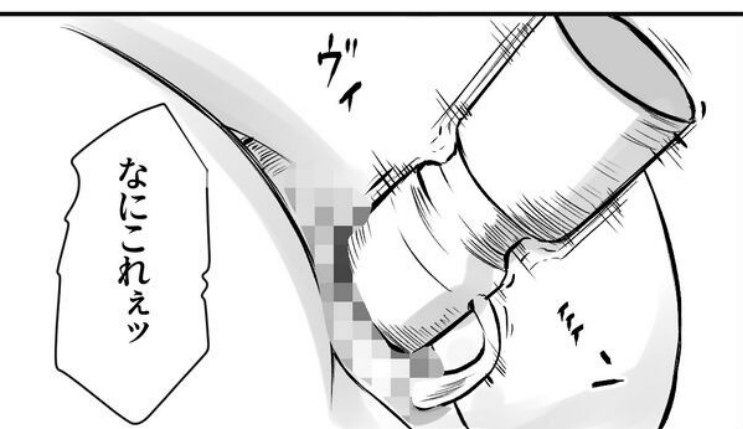


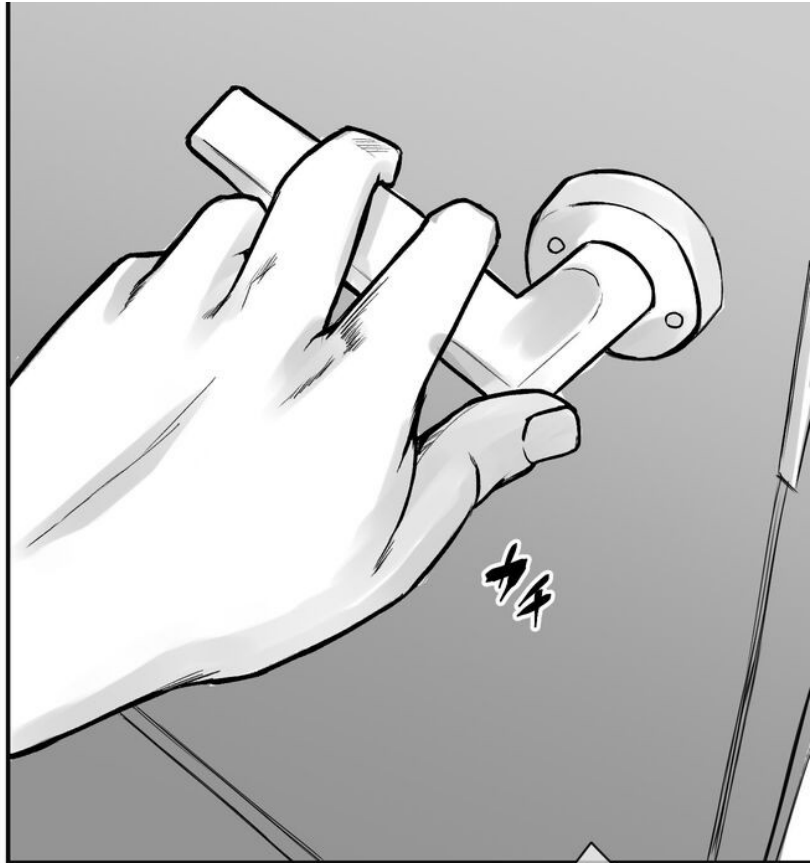




正人が気持ちよく
なってる表情がすぎ。

私ね…。



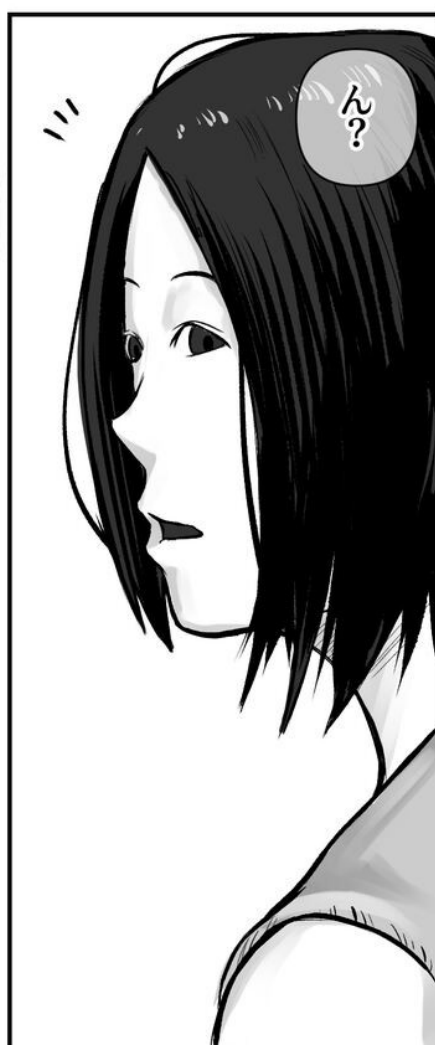




母親のほうだから...

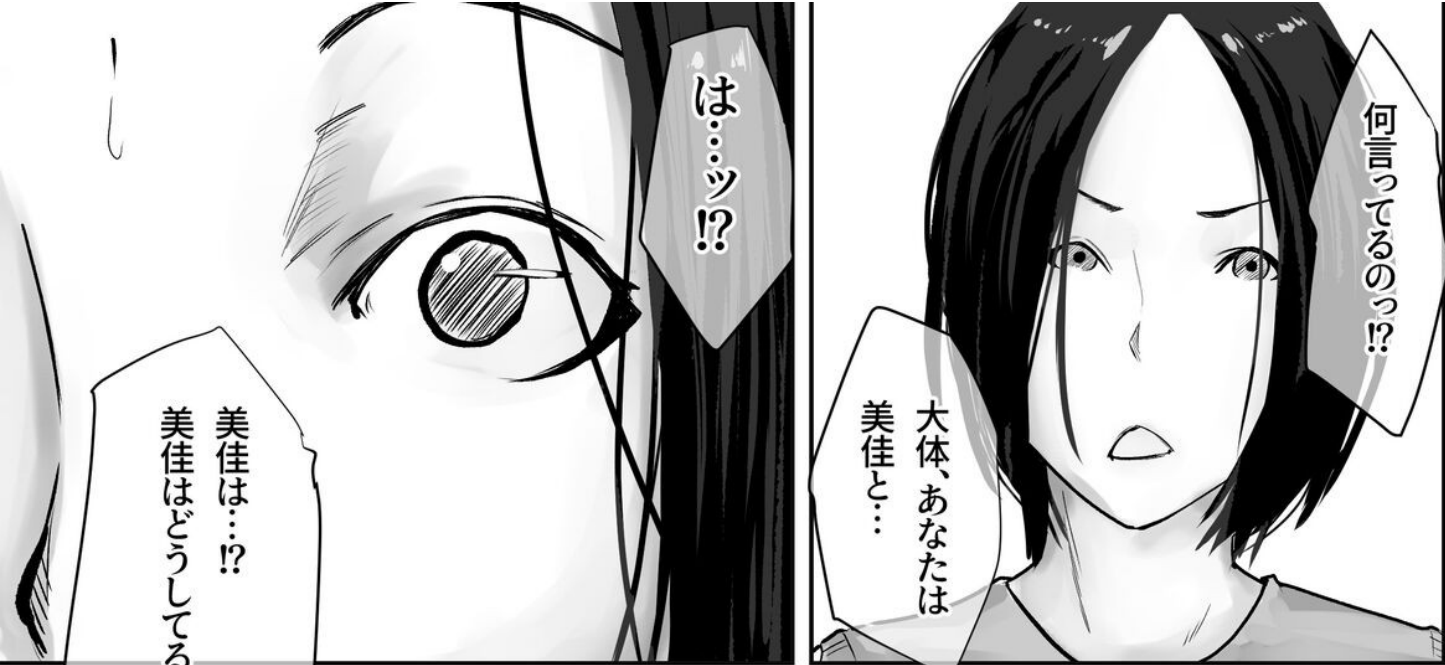


あら...正人く...っ



ん?





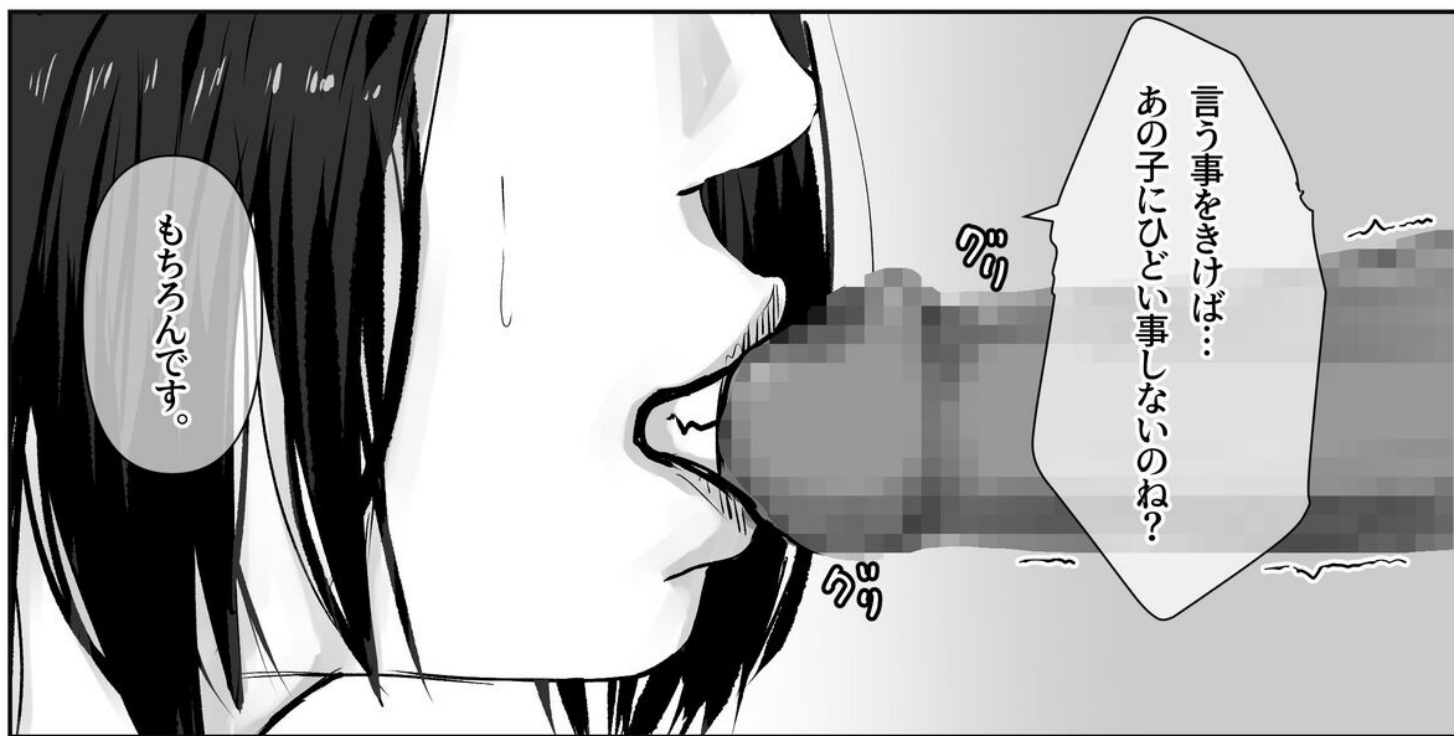
そ、そんなこと…
あの子に言ったら…

おばさんの事も
拒絶するでしょうね。

最低ね…。

正人くん…。







ん…っ

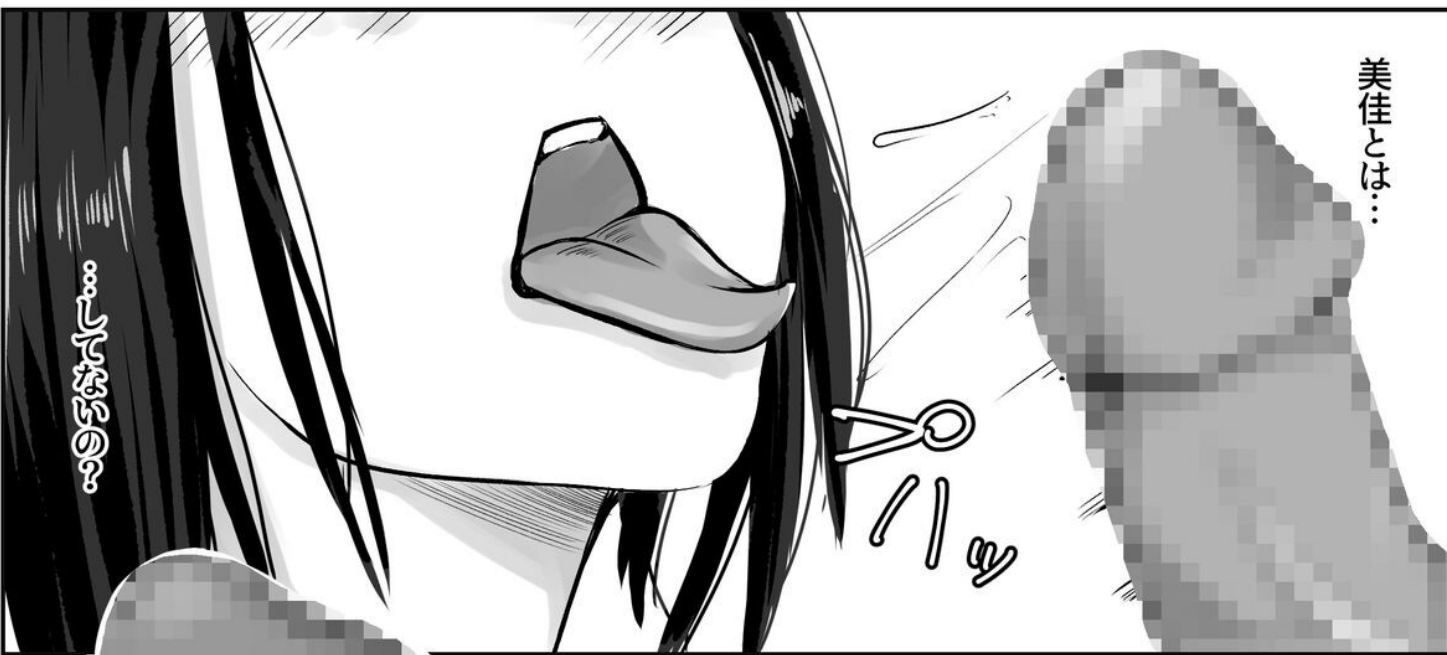
ん…っ

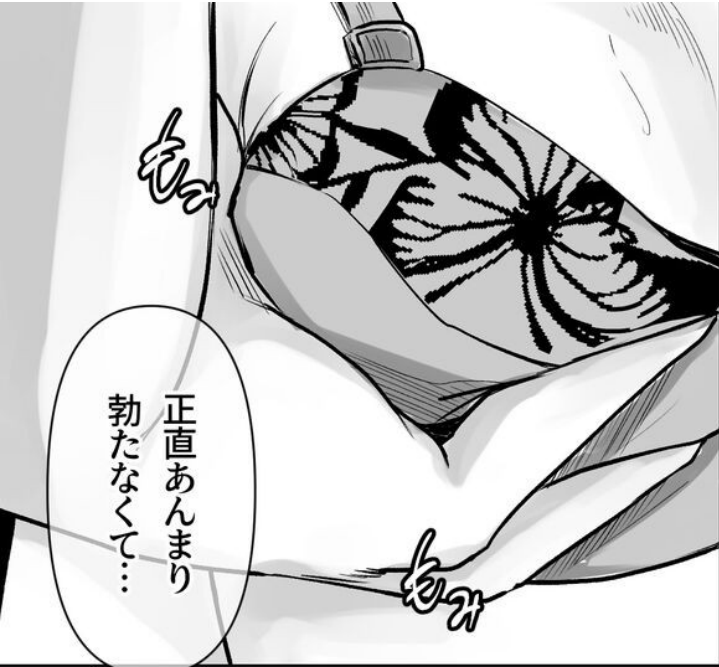
んぐ…っ

6回

ああ…っ
おばさんが僕のを
しゃぶってくれてる…っ

おばさん…っ
気持ちいい…っ
すごく気持ちいいよっ

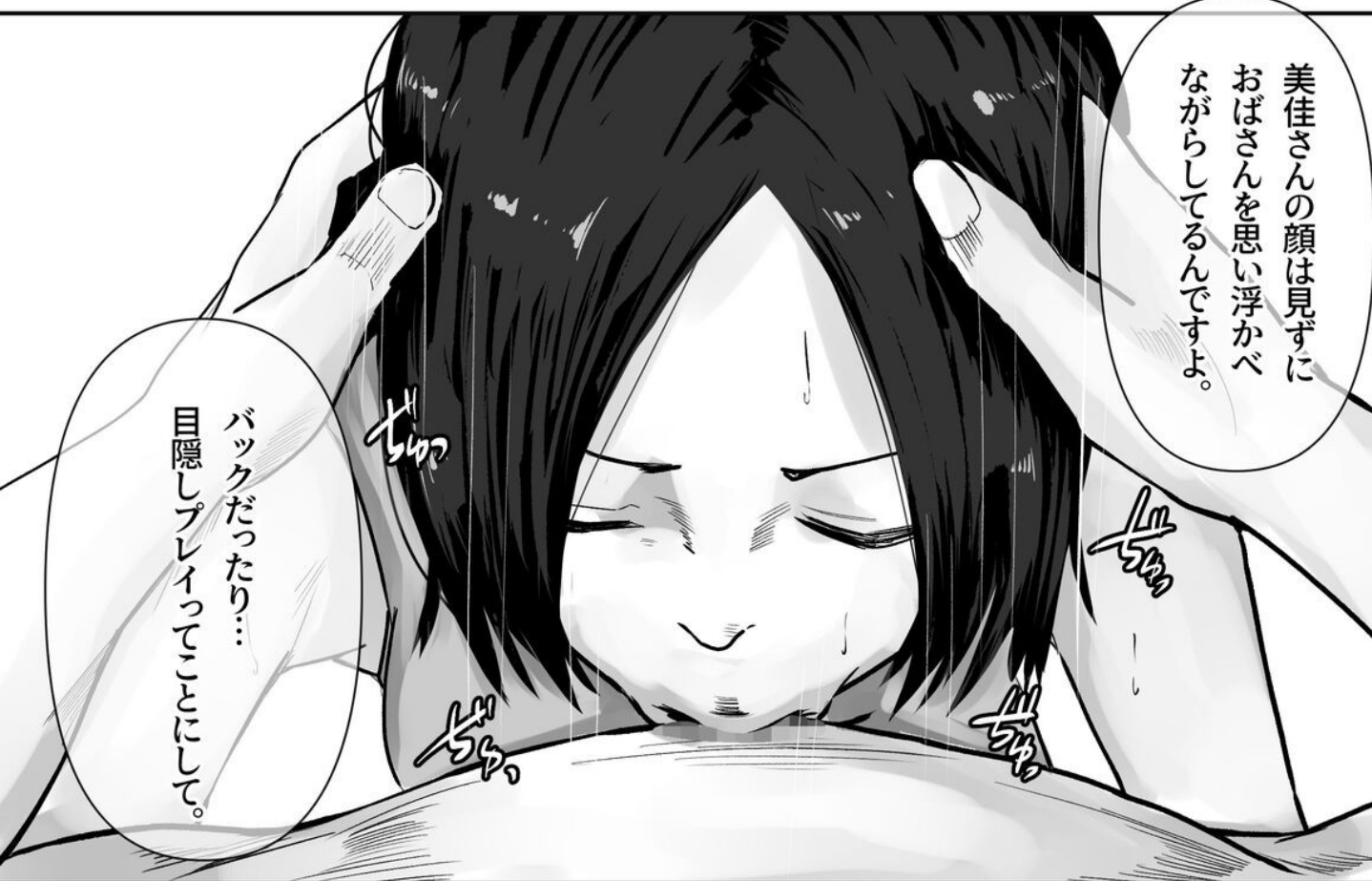




正直あんまり
勃たなくて…

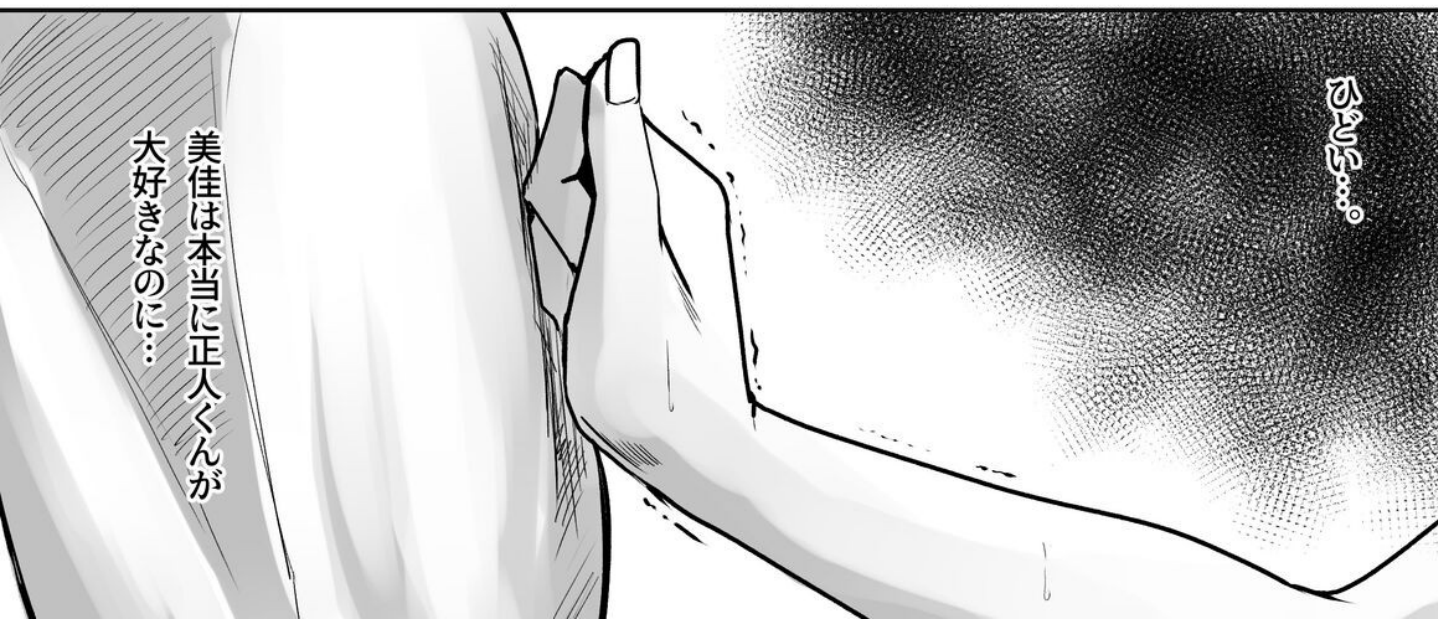


美佳さんとも
してるんですけどね。



美佳さんの顔は見ず
におばさんを思い浮かべ
ながらしてるんですよ。

バックだったり…
目隠しプレイってことにして。



美佳は本当に正人くんが
大好きなのに…

あふあふ。



私が正人くんこんな事してるなんて...

美佳が知ったら...



あなたがここにいること...

美佳は本当に
知らないのね...?

美佳さんは今一人で...
あー...まあ、大丈夫です。

でも僕はおばさんとの
関係がバレても...

7688

問題ないん
ですけどね。

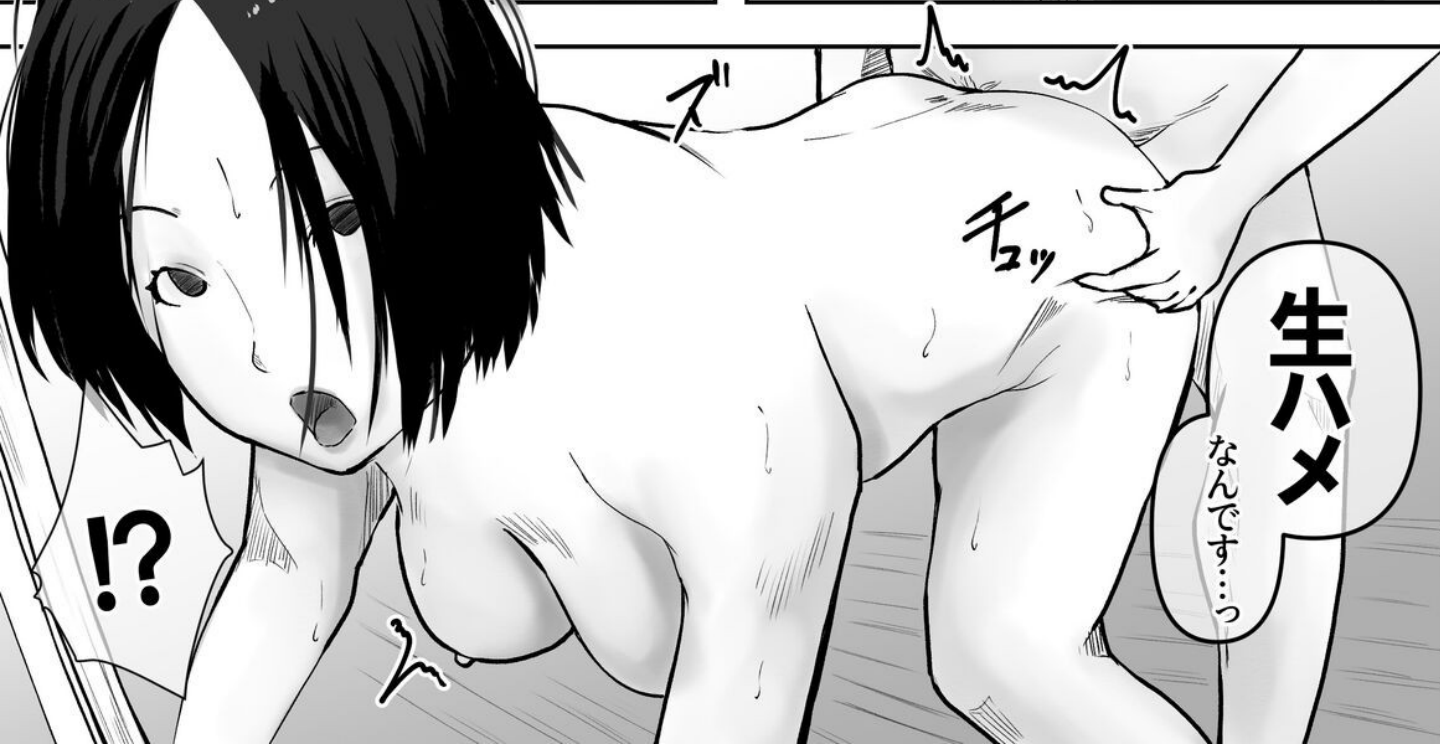
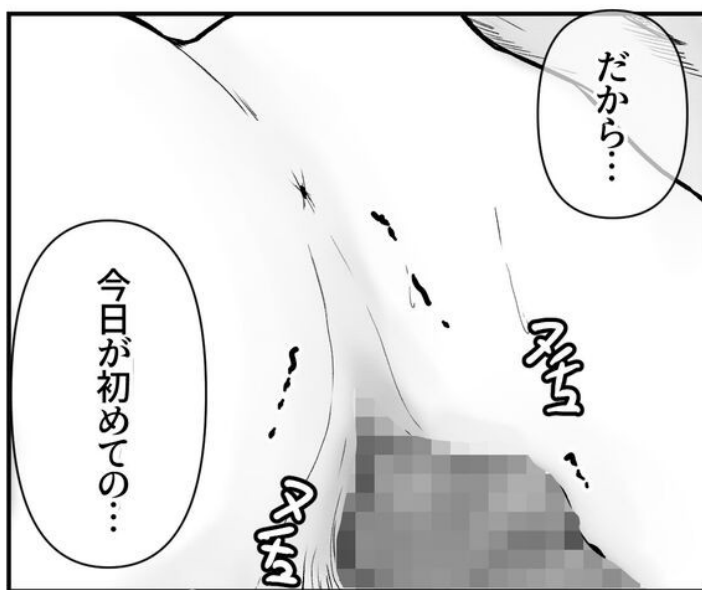
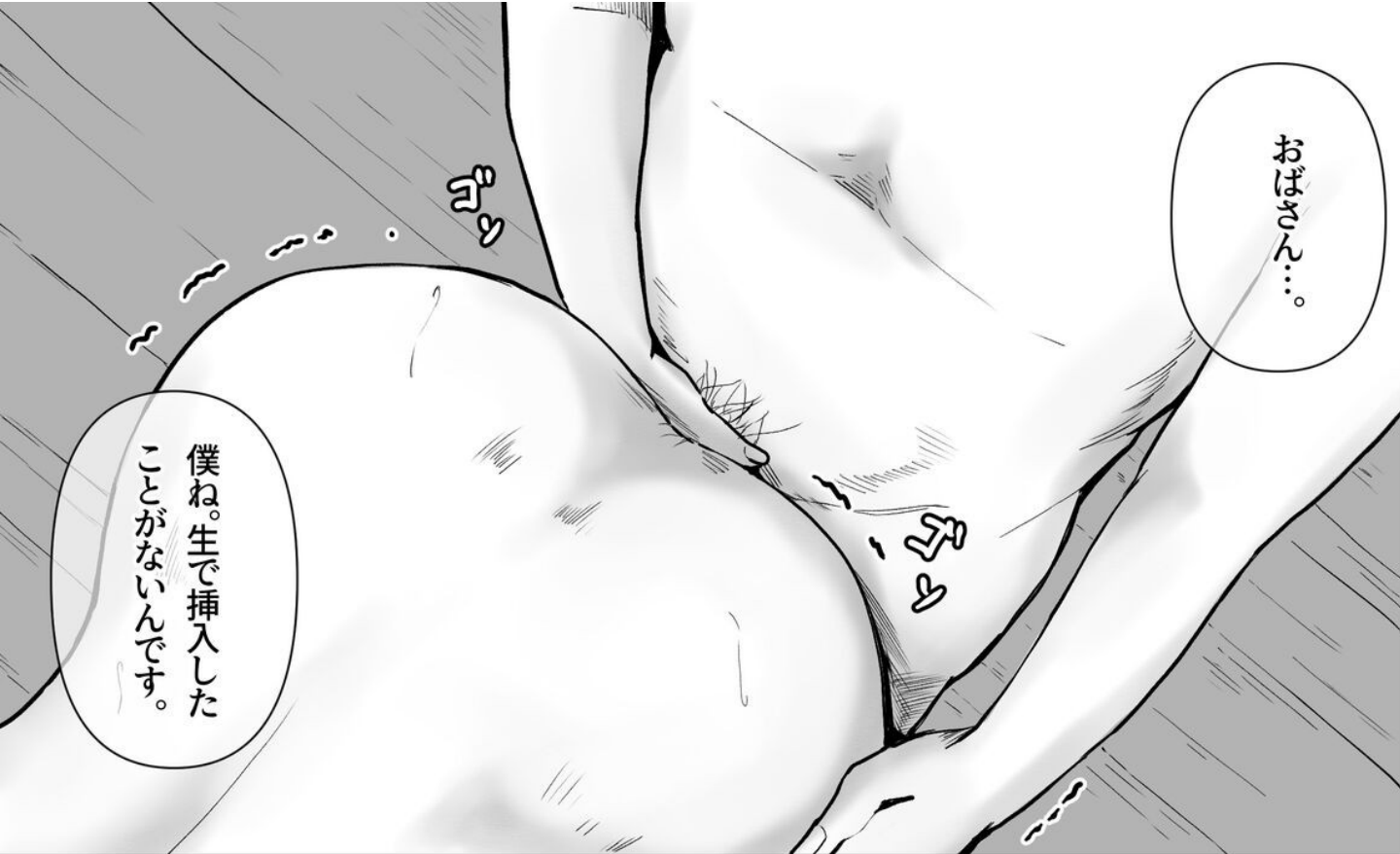
もみ

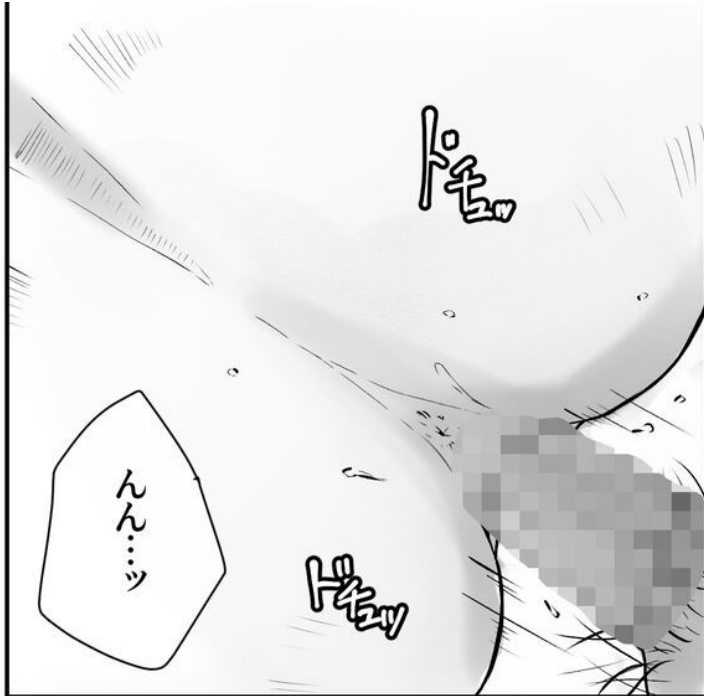
もみ

や...

やめて...ッ!!

そんな事したら
あの子がどれだけ
傷つくか...







今、僕...
おばさんとセックス
してる...っ

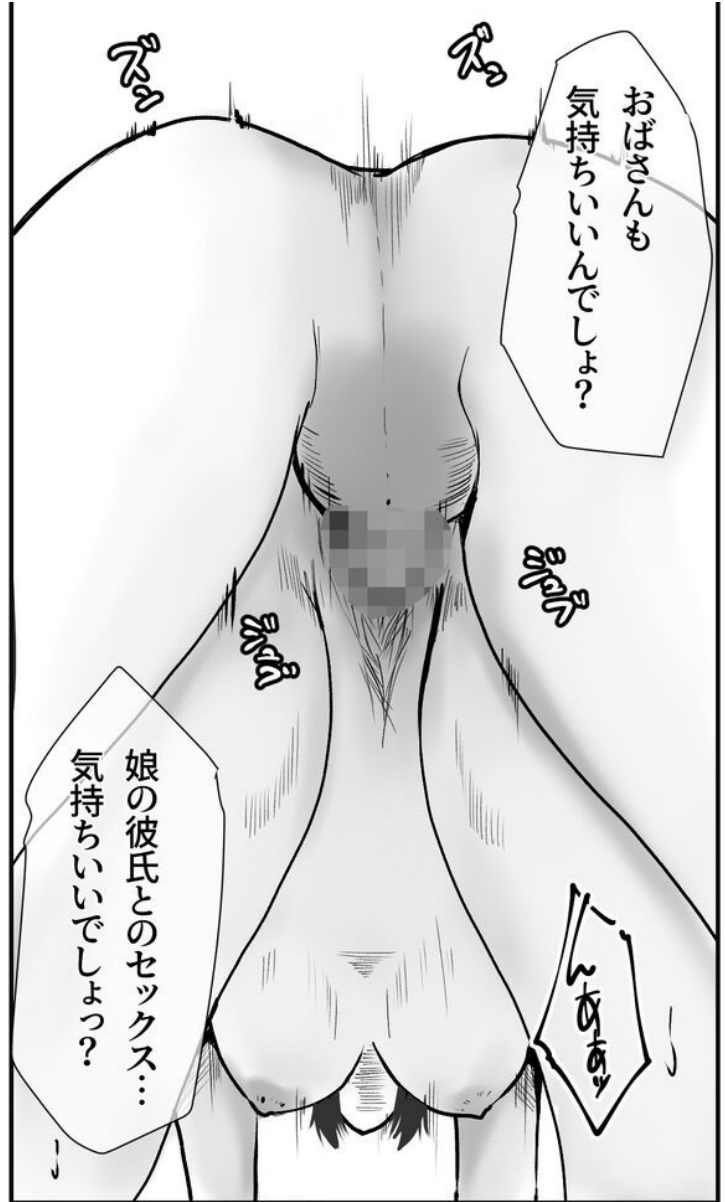
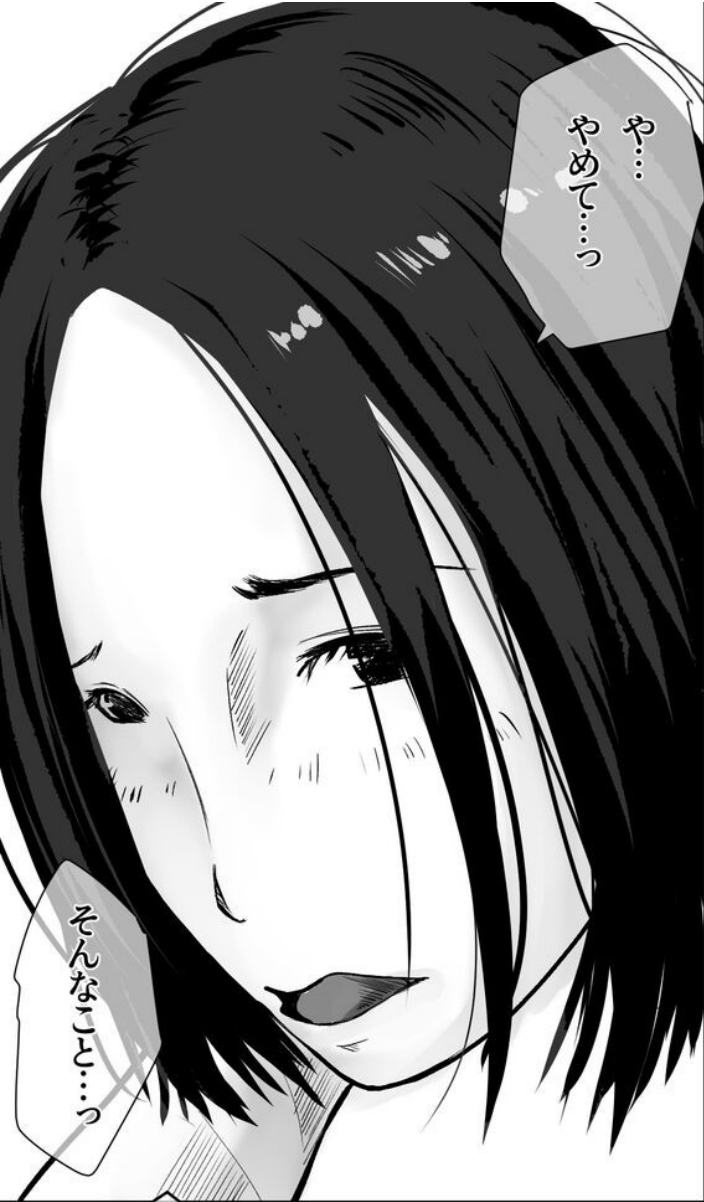


すごく気持ちいいよ...っ
おばさんの膣内...っ

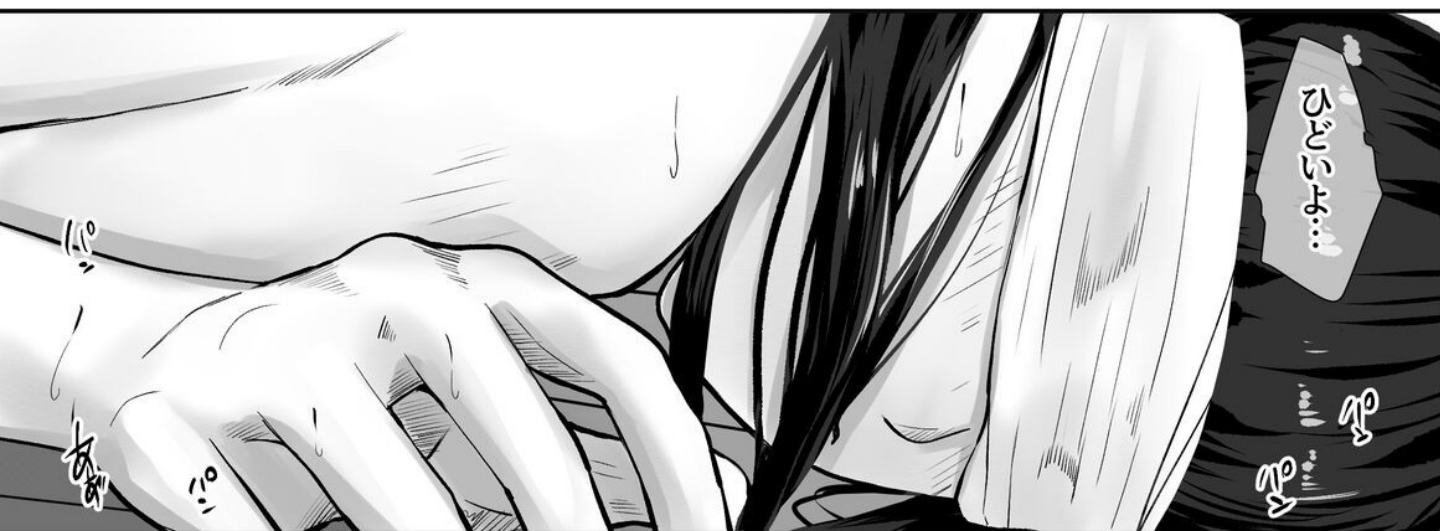
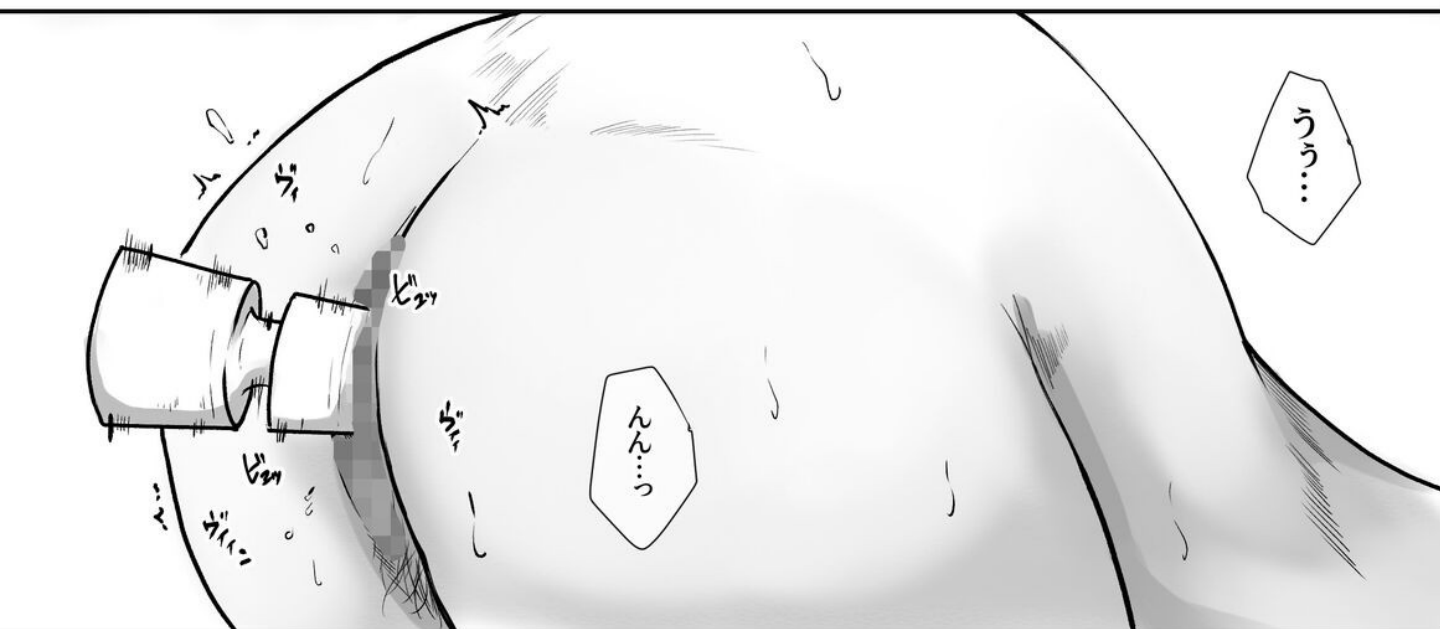
ぐちゅぐちゅイヤらしい
音たてて...っ

僕のちんぽを
啜え込んでる...っ

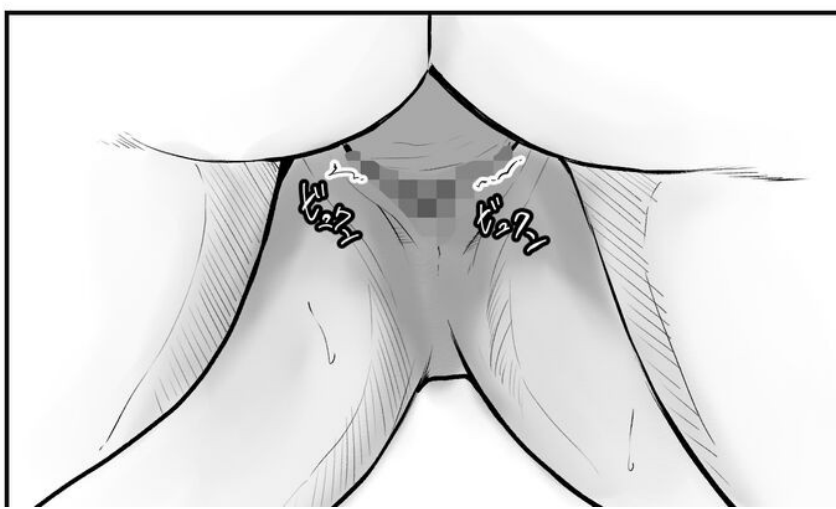
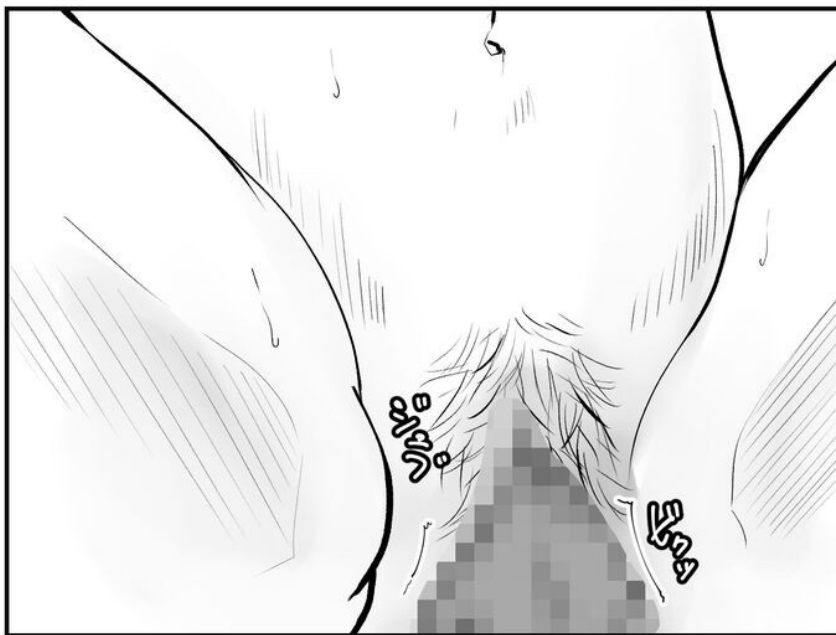
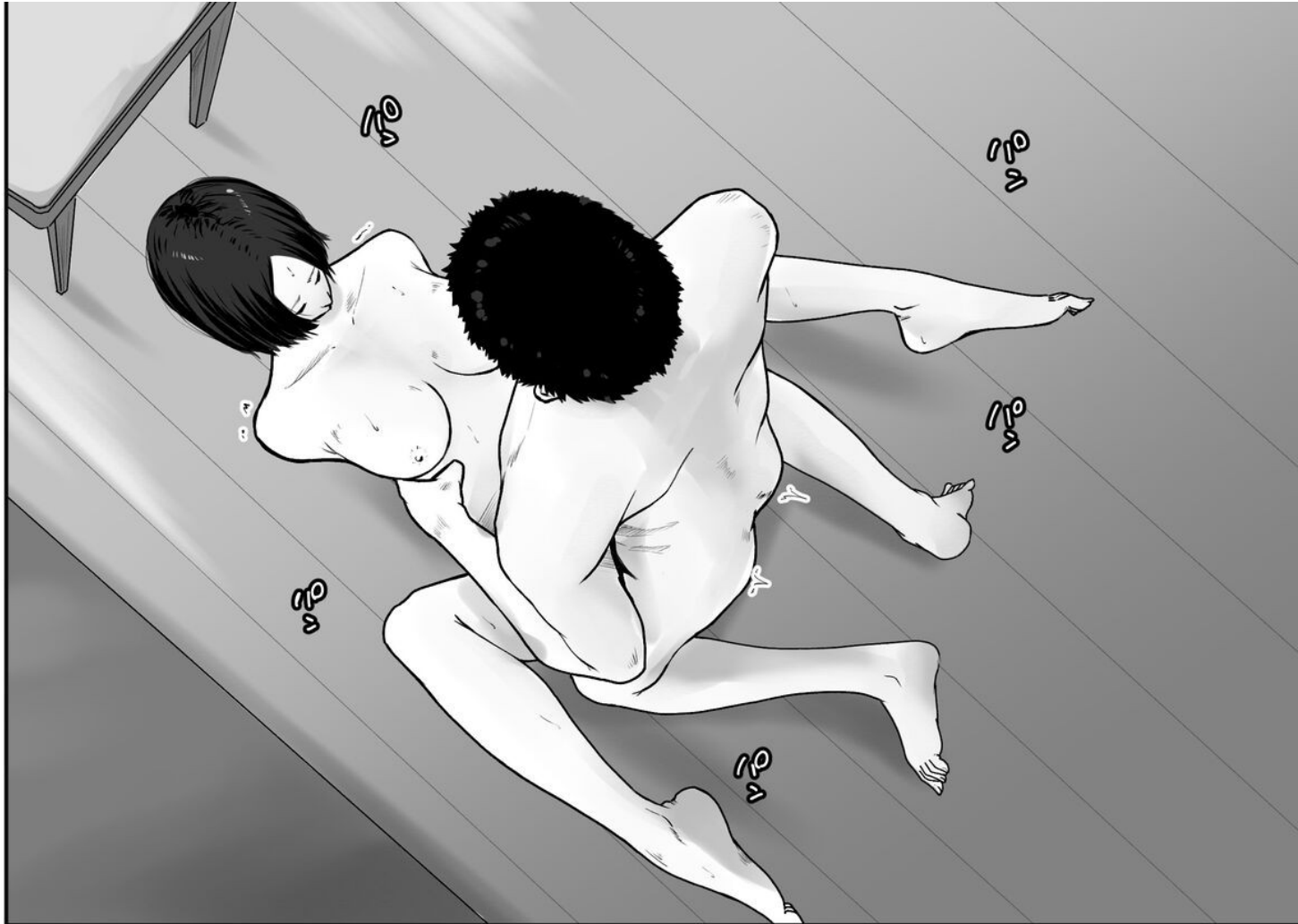
や...やめて...っ
言わないで...っ

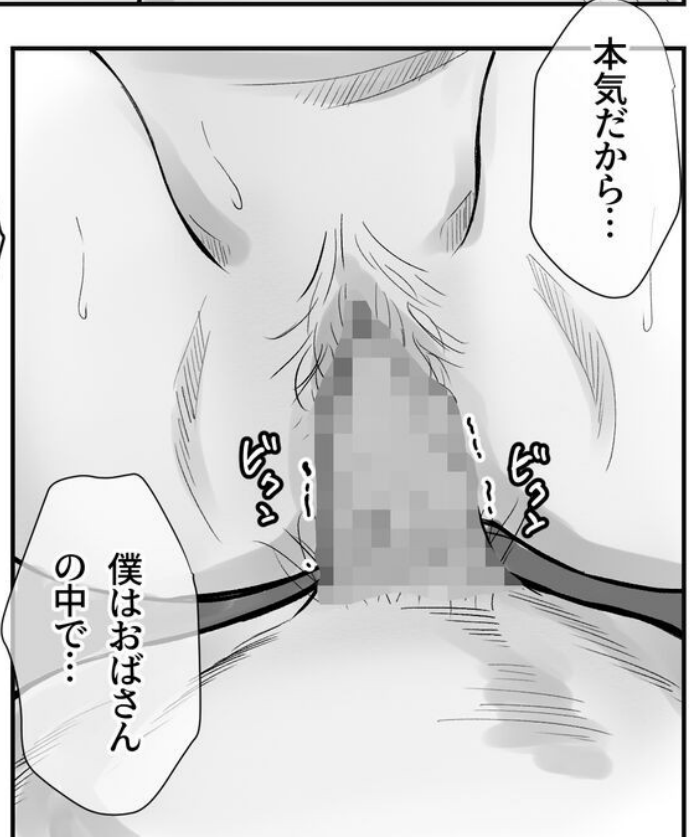
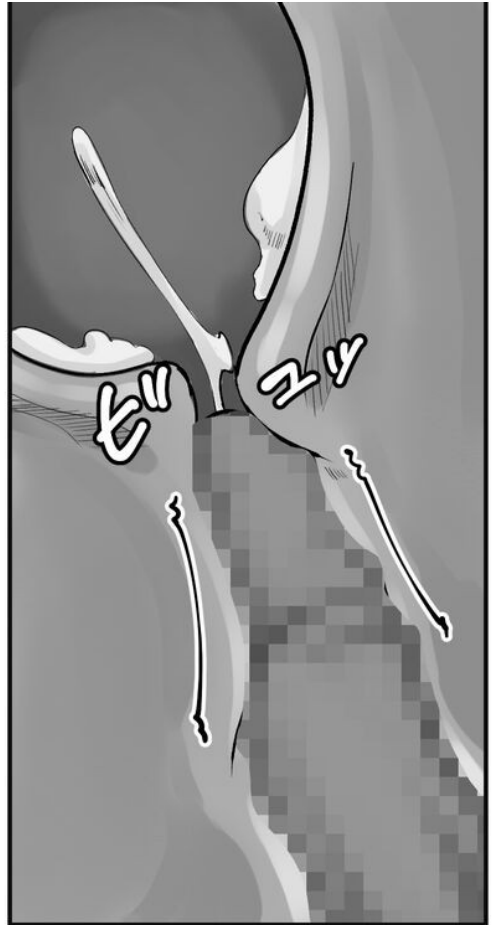
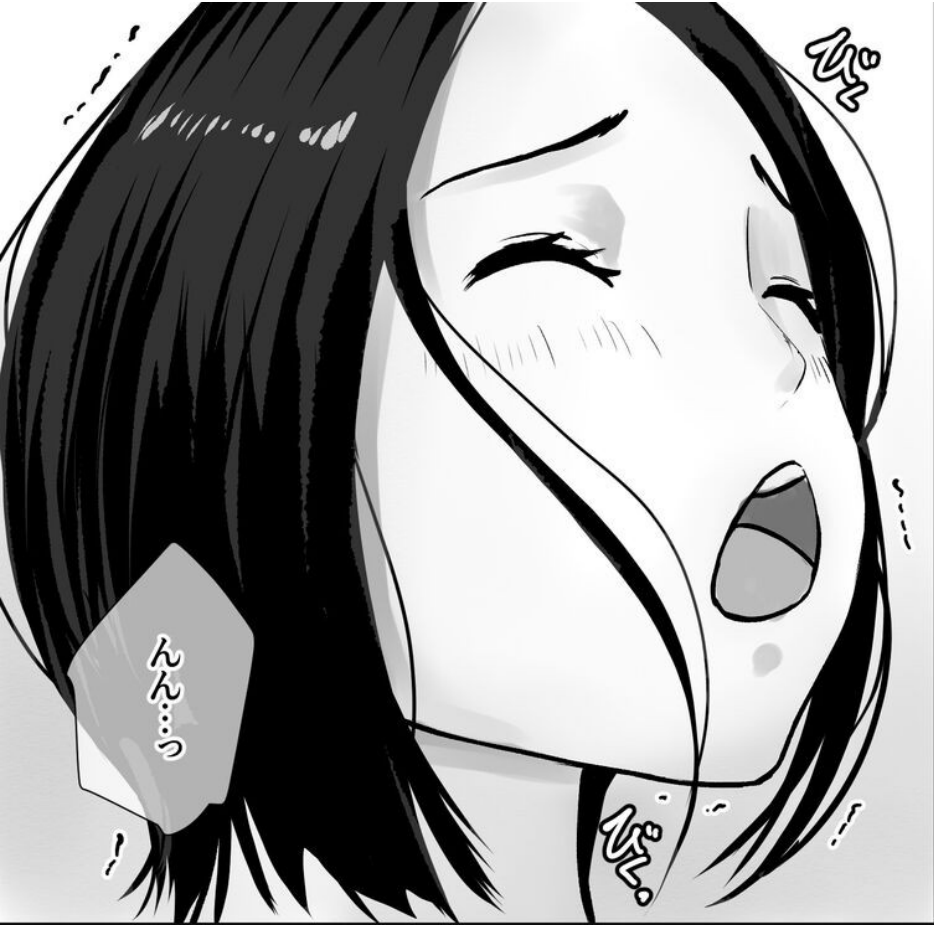


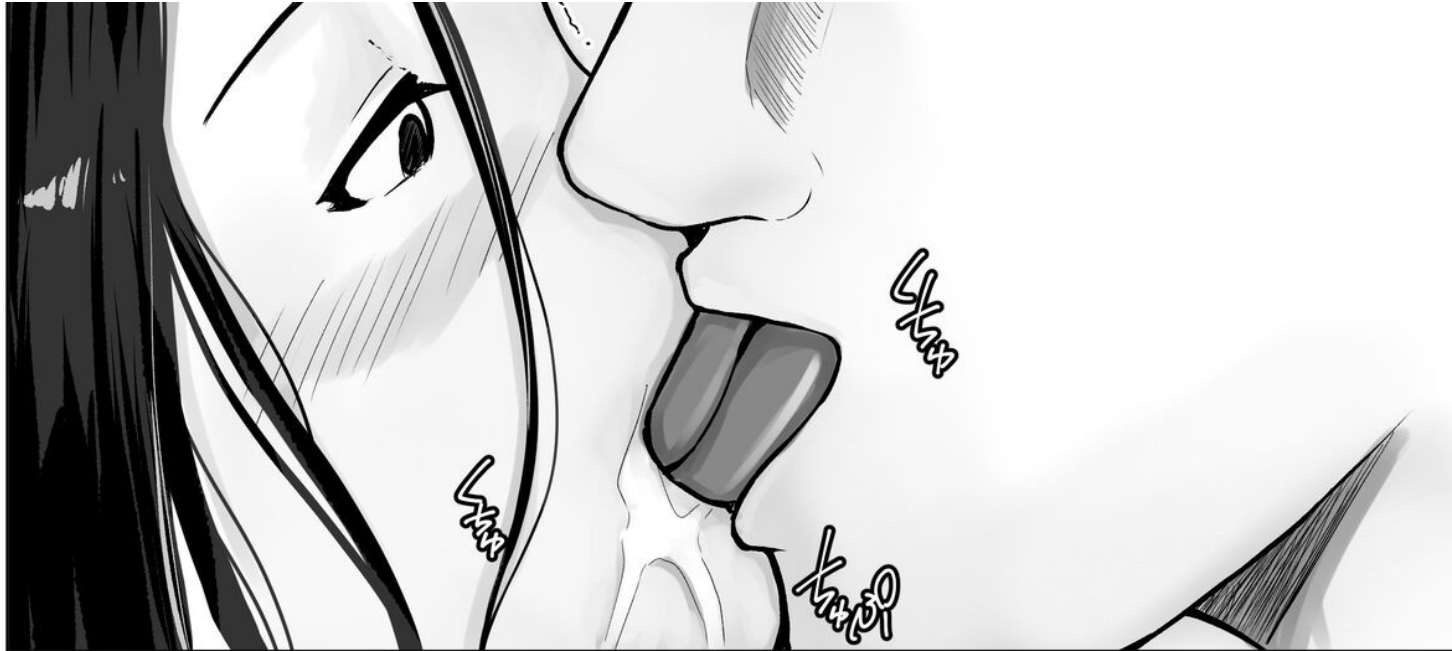










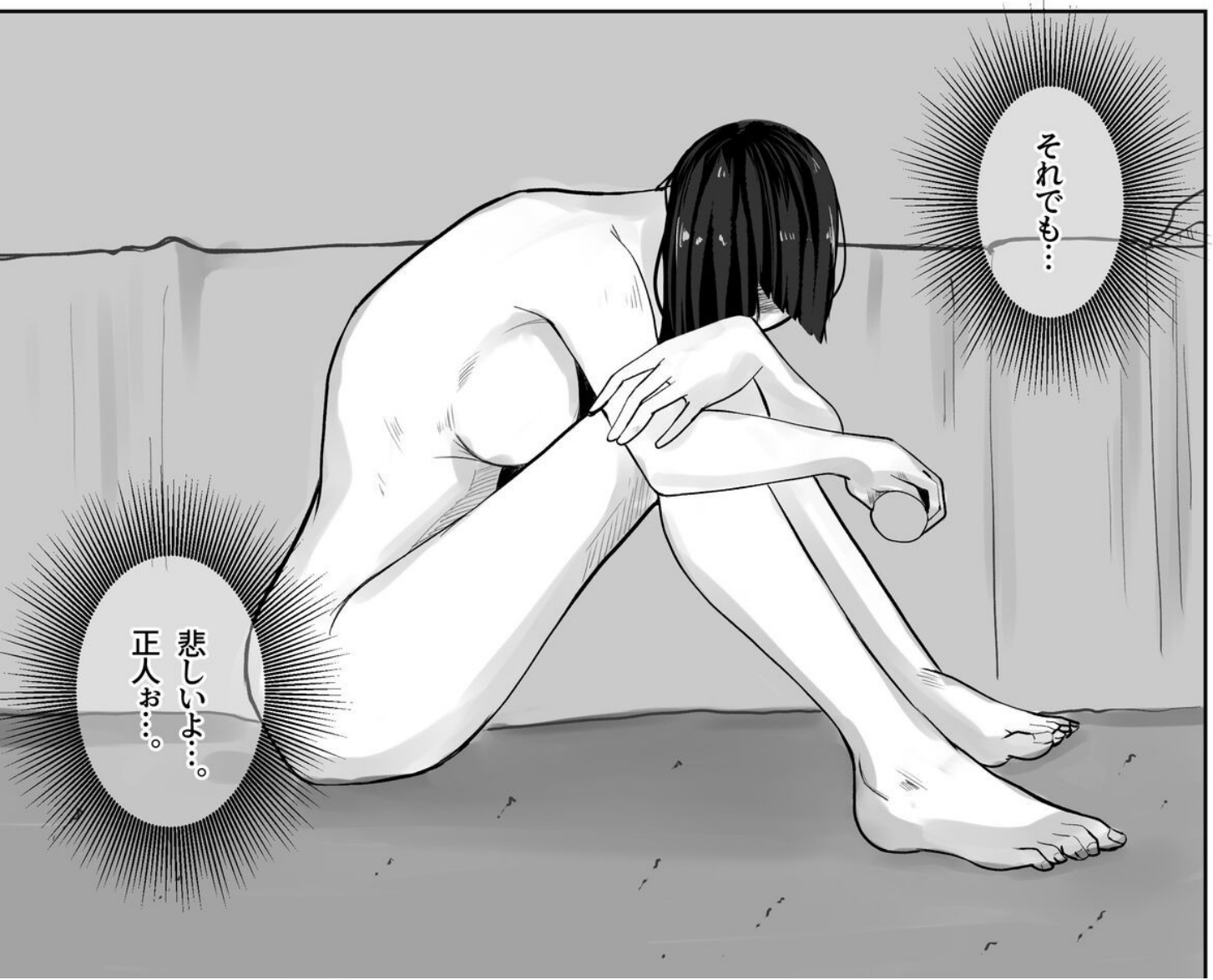




お母さんっていつとなく
知ってる...

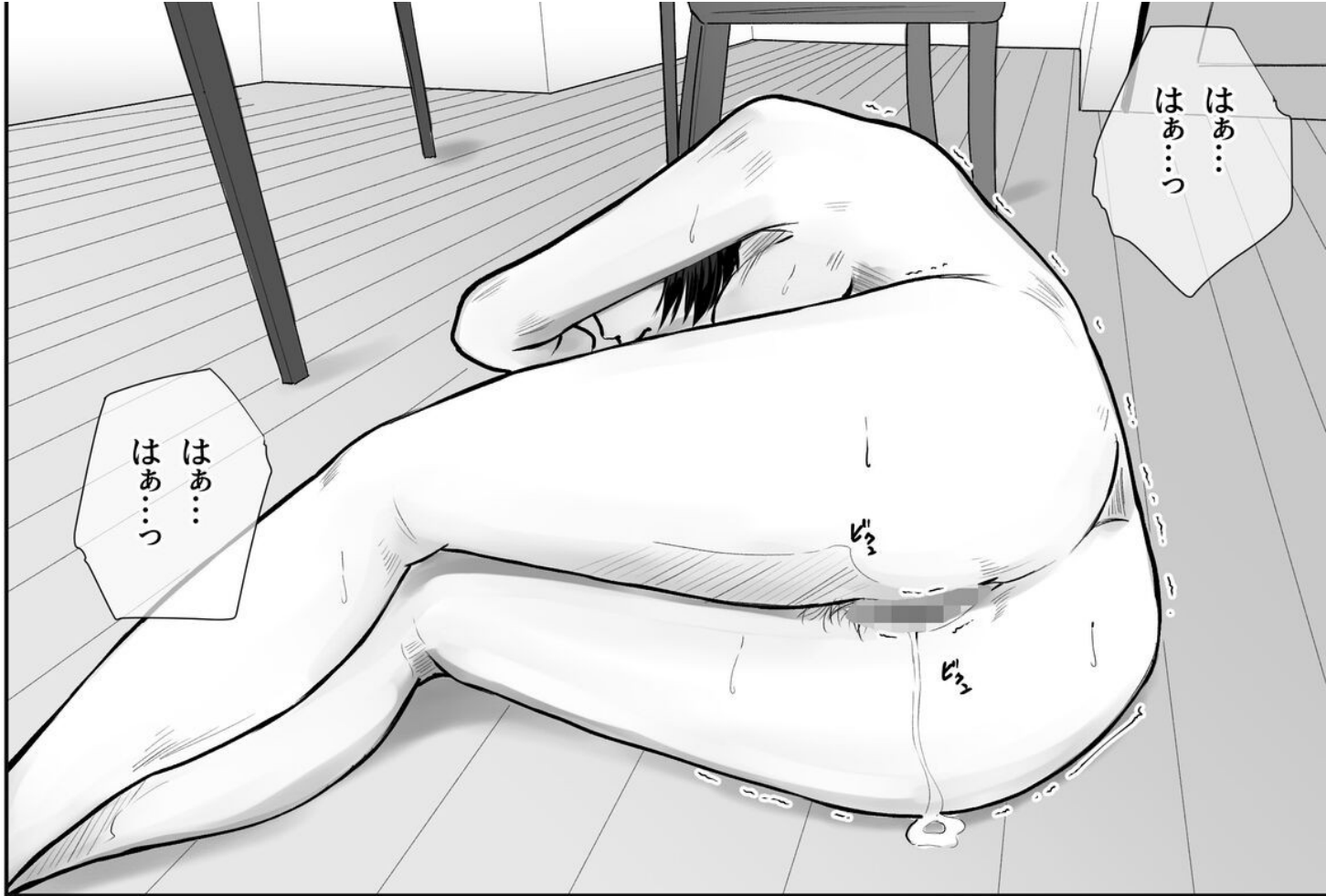


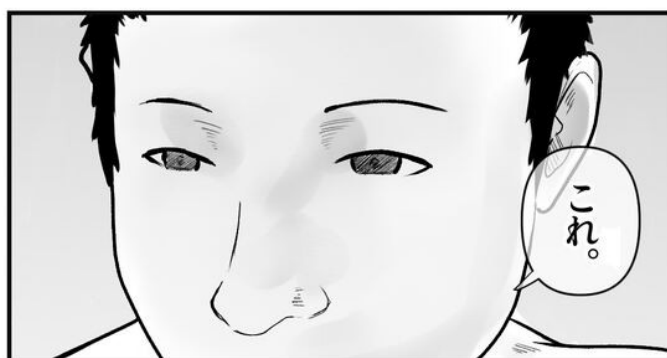
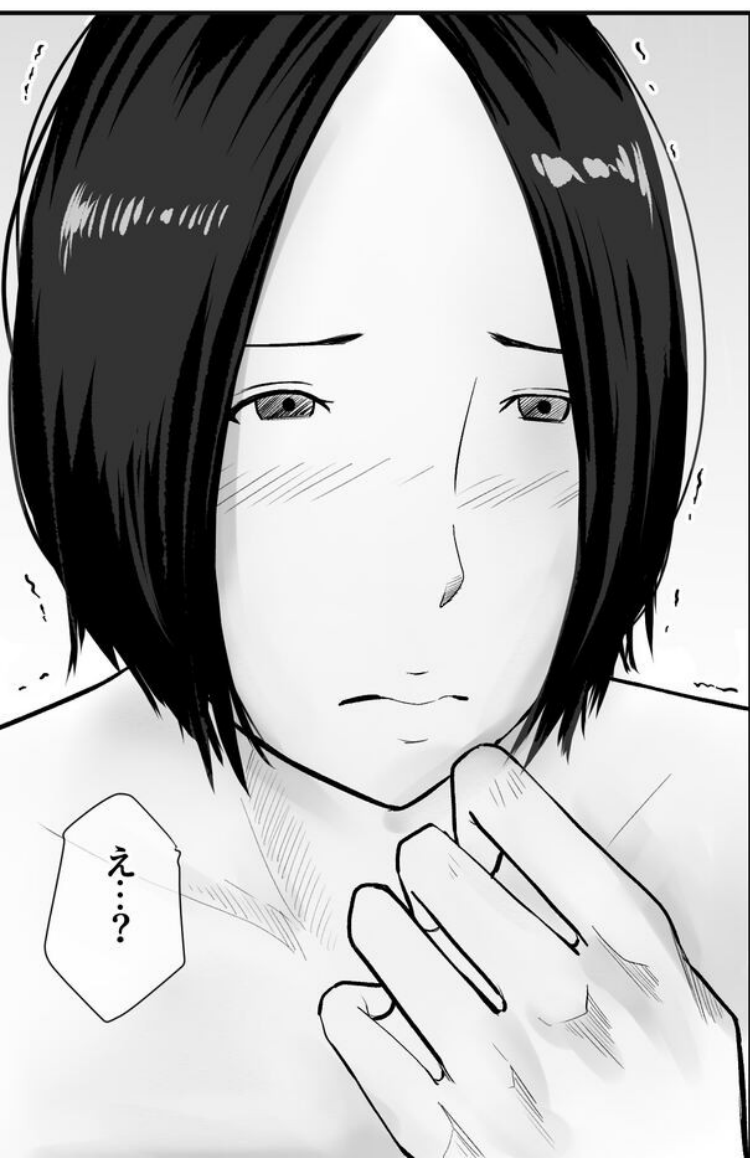
正人が見てるのは...



それでも...

悲しいよ...。
正人お...







勃起しなかったら
不自然ですから。



美佳さんのところに
戻っても…



僕、ただでさえ美佳さんじゃ
勃起しにくいので…。

少し勃起まで
お願いします。







